

## ～タイトル～

「みらいの教員育成プログラム」釧路モデルの実施報告 No.9 (2023年12月9日実施)

## ～本文～

12月9日(土)9:30~12:00、「教員基礎」の第9回目(まとめ2:発表とふりかえり)が実施されましたので、概要を以下ご紹介します。

### 【プログラムの内容】

第9回は、「教員基礎」のプログラムを通して、学んだことについての発表会でした。第1回で設定した自分の追究したい課題について、学校での実習、現場教員との交流、講義等から学んだことを発表しました。一人一人が自分の気づいたことや学んだことを整理し、今後に向けての抱負を話すことができました。

### 【発表】

第1回で設定した自分の追究したい課題について、一人一人が発表しました(写真1~3)。設定した課題は、「子供たちが主体的に授業に参加するためにはどのような工夫が必要か」、「子供たちとの関わり方を理解する」、「学級づくりにおける教師の役割とは」、「教師のやりがいとは何か」など、幅広く見られました。それぞれが自分の課題についてわかったことを整理し、今後に向けての抱負も語ってくれました。発表後には、自分との共通点や相違点、さらに深く質問したい部分について交流していました。「教員基礎で自分が成長したと思う部分はどこですか。」、「気づいたことが多いですが、それらは自分で気づいたのですか。」など、参観して下さった方からの質問もありましたが、それらにはっきりと自分の考えを答える姿がみられました(写真4)。

### 【ふりかえり】

プログラム全体のふりかえりを行いました。個人でプログラムをふりかえった後、グループで交流をしました。「実際に学校に行くことはなかなかできないので、学校実習で気づくことが多かった」、「最初は子供と関わるができるか心配だったけど、子供たちから関わってくれて安心できた」、「授業を受ける立場から、少し実施する立場を経験して大変だったけどやりがいを感じることができた」、「何気ない先生方の行動であっても、何か意図があることに気づいた」、「発表を通して、自分とは異なる視点でプログラムに参加していることを知り、面白いと感じた」、「来年度は、子供たちの発達段階による違いに着目して観察したい」、「高校生のうちに教育実習に行けたのはとても貴重な体験だった。今後の自分の将来につなげていきたい」などの意見が出されていました。プログラムを通した一人一人のふりかえりが今後につながる有意義な時間となりました。

(写真撮影・文責：星裕)

掲載写真

